

成人新春松竹梅盆栽展

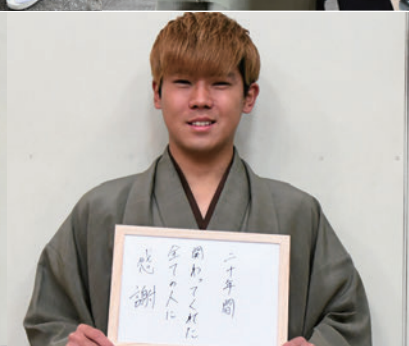
八千代町



祝！成人

1月13日に開催された成人式「はたちのつどい」
今年の新成人は237人です。

祝成人
八千代町



※はたちのつどい実行委員のみなさん

広報やちよ
Yachiyo



2019

2
No. 712



八千代町長に 谷中聰^{さとし}氏が当選

任期満了に伴う八千代町長選挙が、1月15日に告示され20日に町内17カ所の投票所で投票が行われました。即日開票の結果、谷中聰氏が八千代町長に当選しました。

投票率は、前回（平成27年1月）の68.95%を7.32%上回る76.27%でした。

■開票結果

（得票順・敬称略）

候補者氏名	得票数
谷中 聰	8,075票
水垣 正弘	3,789票
国府田 利明	1,531票

◎各投票所別の投票率（投票者数には、期日前投票者数も含まれます）

投票区	投票所名	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
第1	西豊田中央研修センター	1,740	1,319	75.80
第2	粟野農村集落センター	736	563	76.49
第3	若農村集落センター	756	579	76.59
第4	仁江戸会館	591	419	70.90
第5	蒔田農村集落センター	1,193	940	78.79
第6	東蒔田農村集落センター	1,165	849	72.88
第7	舟戸ふるさとコミュニティセンター	630	518	82.22
第8	村貫コミュニティセンター	903	680	75.30
第9	本田農村集落センター	1,681	1,316	78.29
第10	松本ふるさとコミュニティセンター	1,141	946	82.91
第11	佐野東集落センター	925	745	80.54
第12	高野農村集落センター	1,286	899	69.91
第13	伊勢山コミュニティセンター	1,672	1,140	68.18
第14	西大山公民館	1,222	926	75.78
第15	久下田コミュニティセンター	700	552	78.86
第16	野爪農村集落センター	803	667	83.06
第17	高崎生活改善センター	653	516	79.02
合計		17,797	13,574	76.27

～ 飛躍を願って～

八千代町新春賀詞交換会を開催



鏡開きをする主催者と来賓の皆さん

1月13日、ビ・アーンジュYUKIYAで町・町商工会・JA常総ひかりが主催する八千代町新春賀詞交換会が開催されました。町議会議員、行政区長・副区長、商工会関係者、JA常総ひかり関係者など約300人が新年の飛躍を誓い合いました。

主催者を代表して大久保司町長が「本年が皆さま方にとりまして、健康で笑顔に満ちた素晴らしい年になることを祈念いたします」とあいさつした後、上野政男町議会議員が「八千代町のさらなる発展のために全力で取組んでまいります」と祝辞を述べました。茨城県選出の国会議員や県議会議員からの来賓あいさつ後、八千代町のさらなる飛躍を願って、鏡開きが行われました。



主催者を代表してあいさつする大久保町長

町・県民税の 申告相談はお早めに !!

問 税務課住民税係 (内線1520)

この申告は、平成31年1月1日現在、八千代町に住
所のある人が平成30年中の所得について申告してい
ただくものです。

●申告が必要な人

- 事業所得（営業・農業）、不動産所得、雑所得（年
金等）、配当所得、譲渡所得などの所得があった方
※東京電力原発事故賠償金や米の戸別所得補償交
付金も事業所得（農業）の雑収入となります。
- 給与所得のあった方で、次の場合
ア 勤務先から八千代町へ給与支払い報告書が提
出されていない方
イ 2カ所以上から給与の支払いを受けた方
ウ 平成30年中に会社を退職された方（再就職
して前職分を合算し、年末調整をされた方は
除く）
エ 給与以外に所得のあった方（給与以外の所得
が20万円以下で確定申告の必要がない場合
も、町・県民税の申告は必要です）
- 町・県民税は所得がなくてもその旨の申告が必要
です。
- 各種借入金や、扶養、住宅の申請に必要な所得・
課税等の証明書を必要とする方

●申告に必要なもの

- 印鑑（シャチハタ印は除く）
- 個人番号カード（または通知カード+本人確認で
きるもの）
- 平成30年分の給与・年金の源泉徴収票（原本）
- 収支内訳書（事業所得・不動産所得のあった方）



■該当する場合に必要なもの

- 社会保険料控除
国民健康保険税・国民年金保険料などの領収書（証
明書）
- 生命保険料控除
生命保険料・介護医療保険料、個人年金の支払額証
明書
- 地震保険料控除
長期損害保険料、地震保険料の支払額証明書
- 医療費控除
医療費明細書（封筒）に医療を受けた人ごとに支払
額を記入し、領収書および補てん金額の分かるもの
を入れてください。
- 寄付金控除
寄付金支払証明書
- 住宅借入金等特別控除
1年目 住民票 / 借入金の年末残高証明書 / 売買契
約書・請負契約書・建築確認通知書の写し
/ 家屋の登記簿謄本 / 敷地の登記簿謄本・
売買契約書の写し（借入金に敷地等の購入
分が含まれる場合）
2年目 借入金の年末残高証明書 / 税務署から届い
た住宅借入金等特別控除申告書
- 小規模企業共済掛金控除
小規模企業共済掛金控除の証明書
- 障害者控除
障害者手帳または障害者控除対象者認定書
- 勤労学生控除
学生証の写し
- 所得税の還付申告をする場合
預貯金の口座番号（本人名義）が分かるもの

下館税務署から 確定申告のご案内 !!

問 下館税務署 (Tel 0296-24-2121)

会 場	下館税務署 筑西市丙 116 番地 16 しもだて合同庁舎
開設期間	2月18日(月)～3月15日(金) ※土曜日・日曜日を除く
受付時間	午前8時30分～午後4時 ※相談は午前9時～午後5時



※相談内容が複雑な場合は、午後3時ごろまでにお越
しください。
※会場が混雑している場合は、受け付けを早めに締め
切ることがあります。



誘惑に負けない強い意志を養う

東中で薬物乱用防止教室が開催されました



税関職員による不正薬物の危険性についての講話

12月3日、町保護司会・町更生保護女性会が、東中学校で薬物乱用防止教室を開催しました。
会場では、税関職員による「不正薬物の危険性について」の講話や麻薬探知犬の活動を紹介しますDVDの上映会などが行われました。生徒たちは、不正薬物の危険性とともにも、誘惑に負けない意志を持つことや危険回避の行動の大切さを学びました。

感謝を伝え喜びを分かち合う

西小5年生がお米の収穫祭を開催

西豊田小学校では、総合学習の一環で、5年生児童が稲作体験授業を行っています。12月7日は、授業に協力してもらった地域の方や保護者に感謝の気持ちを伝えようと、お米の収穫祭を開催しました。



収穫の喜びを分かち合う参加者のみなさん

花いっぱいでおもてなし

下山川行政区が県教育長賞を受賞

茨城県や茨城県教育委員会等が主催する第46回花と緑の環境美化コンクールで、下山川行政区の花壇が、「おもてなし花壇の部」で茨城県教育委員会教育長賞を受賞しました。

コンクールでは、花壇の配色や配置、管理などが審査され、同行政区の花壇は、色鮮やかな花々が丁寧な育てられ、おり普段の管理が適正にされている、との高評価を受けました。

12月19日、大久保司町長に受賞の報告に訪れた高崎隆代表は「2019年は、いばらき国体が開催され、八千代町もビーチボールバレー競技の会場になります。花いっぱいでおもてなしられるよう、今回の受賞を機に取組みの輪を広げることができれば」と話していました。



大久保町長に受賞の報告に訪れた高崎さん(右)

住み良いまちづくりを目指して

町民会議が町に提言

行政区域長やコミュニティ推進協議会役員などで構成される町民会議(廣瀬賢一議長)が提言をまとめ、12月19日に大久保司町長に提言書を手渡しました。



大久保町長に提言書を手渡す廣瀬さん(左)

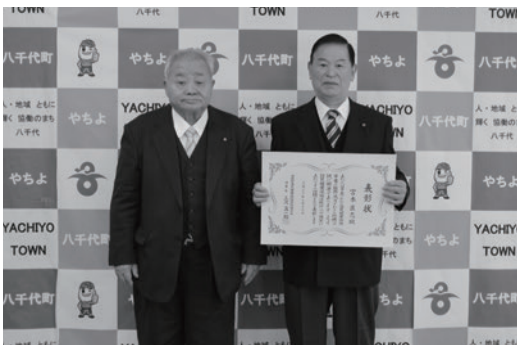
今回の提言には、活力に満ちた農業の振興、防犯・交通安全対策の推進、遊休農地の解消・適正な管理、スポーツ・レクリエーション活動の推進などが盛り込まれました。

国保事業の運営および発展に貢献

国保運営協議会委員3人が表彰

国民健康保険法施行80周年を記念して、町の国民健康保険運営協議会の3人の委員が表彰されました。表彰を受けたのは、天王木番田の宮本直志さん、高野の大久保静さん、高崎の加藤徹さんです。

3人は、国保運営協議会の委員として、国民健康保険事業の運営および発展に尽力するなど多年にわたる功績が認められました。

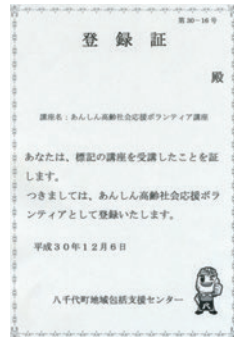


大久保町長から表彰の伝達を受けた宮本さん(右)



地域をみんなで支える

「あんしん高齢社会応援ボランティア」を養成



11月15日、26日、12月6日にあんしん高齢社会応援ボランティア講座が開催されました。この取組みは、高齢社会を支える活動の輪を広げることを目的に平成28年度から始められ、今年度は16人が受講しました。
(平成28年度17人、平成29年度12人)

講座では、認知症の家族による講話や施設見学などを通して認知症についての理解と、専門職員による講話で成年後見制度や介護保険制度など高齢福祉制度についての理解が深められました。受講生は今後、認知症カフェ「オレンジカフェやちよ」や各地区で開催される高齢者交流サロンの企画運営などの活動に取組んでいきます。

最終日にボランティア登録証の交付を受けた中山亨さんは「地域に活動の輪が広がるとても良い取組みと思い参加しました。誰もが安心して暮らすことができるまちづくりには、少しでも貢献することができるよう、積極的に取組んでいきたい」と話していました。



講義を受ける受講生のみなさん

H28・H29 受講生の活動の様子



オレンジカフェ
(ボールを使った軽運動)



交流サロン
なごみの杜 (野爪)

交通安全母の会と高校生が交通安全の呼びかけ活動

11月14日、19日に町交通安全母の会の会員と八千代高校の生徒が、町内の自宅を訪問し、交通安全の呼びかけを行いました。

今年で17年目を向かえるこの取組みは、地域の交通事故防止を推進するとともに、住民との交流を通して参加者自身の交通安全意識の高揚を図る目的で実施されています。

参加者は、交通安全の啓発グッズなどを手渡しながら「外出する際は、交通安全に十分注意してください」と呼びかけていました。



見守り訪問をする参加者のみなさん

女性消防団員と更生保護女性会が見守り活動

地域のみなさんに安心を届けようと12月6日、町消防団の女性団員と町更生保護女性会の会員がひとり暮らし高齢者宅の見守り訪問活動を行いました。参加者は訪問先で、家庭における火災予防や戸締りなど防犯についての呼びかけを行った後、日常生活の中で困っていることなどについて相談を受けました。

訪問を受けた住民は「ひとりで暮らしていると不安なことがたくさん。こうして訪問していただけると、とても心強いです」と話していました。



交通安全を呼びかける参加者のみなさん

大好きな



小竹 りりか さん (中結城小5年)

お母さん めぐみ さん

大好きなお母さん

私の大好きな人は、お母さんです。私が何かで困っている時は、真剣に聞いてくれて、アドバイスをしてくれます。なので、前向きな気持ちになれるし、とても心強いです。それに、お母さんはお裁縫がとても上手です。洋服のサイズを直したり、色々な可愛い小物を作るので、すごいなあと思います。他にも、私の陸上クラブの送り迎えをしてくれたり、練習の時のビデオを撮ってくれるのでとても助かります。大会で良い結果が出せた時は、いつも笑顔で褒めてくれて、気持ちを明るくしてくれます。私はこんなお母さんが大好きです。

やらよ文芸

俳句

八千代文芸俳句会選

障子張る明るき部屋に忌を修す

久下田 川村 エイ子

復もせぬ老軀労わり冬至の湯

小屋 石島 和男

お喋りも商のこつ縁小春

松本 野口 まさ子

手袋や一指一指の意思強し

大里 山中 康雄

猫の世も里親のあり冬仕度

小屋 倉持 幸子

午後の陽に深み湛えて秋のバラ

新井 片野 みさを

終の花こぼれて寂光土

菅谷 照内 美代子

短歌

風吹くも一心にして歩くなり

望みはひとつピンピンコロリ

大戸新田 山本 好子

金色の初日につつまる集落に

今年も平穏無事を祈りて

東大山 草間 ふみ

♡ 笑顔がいいね！



やなぎた とらき 柳田 虎嬉ちゃん
平成 29 年 9 月 25 日 生まれ (舟戸)

お姉ちゃんお兄ちゃんが大好きなとらき。たくさん遊んでもらって毎日楽しいね！みんなの宝だよ。これからも、のびのびたくましく大きくなってね。

父 直樹さん
母 あいさん



みずがき ゆうじろう 水書 優二郎ちゃん
平成 29 年 9 月 21 日 生まれ (路田)

毎日たくさん笑って歩いて元気いっぱいのおゆうちゃん。これからもお兄ちゃんと仲良く元気に成長してね！

父 克己さん
母 実代子さん



スポーツ大会の結果

(敬称略)



いばラッキー

■平成30年度第12回千代川学童野球大会

〔と き〕 11月25日(日)、12月1日(土)、2日(日)
 〔ところ〕 千代川球場ほか
 〔主 催〕 千代川学童野球大会実行委員会
 〔主な結果〕
 第3位 中結城スポーツ少年団
 第3位 安静ファイターズ

■第3回関東ていぐねんオープン茨城大会

〔と き〕 12月1日(土)、2日(日)
 〔ところ〕 筑西市下館総合体育館
 〔主 催〕 茨城県小学生バドミントン連盟
 〔主な結果〕
 1年男子シングルス
 第3位 古澤翔

■平成30年度第36回常総市飯沼近隣学童野球大会

〔と き〕 12月1日(土)、8日(土)、9日(日)
 〔ところ〕 石下球場ほか
 〔主 催〕 常総市飯沼近隣学童野球大会実行委員会
 〔主な結果〕
 第3位 安静ファイターズ

■古河市ママさん柔道大会

〔と き〕 12月9日(日)
 〔ところ〕 古河市立総和南中学校
 〔主 催〕 総和柔道クラブ
 〔主な結果〕
 個人戦 準初心者部の部
 準優勝 鈴木美由紀(八千代町柔道会)

■第5回八千代町グラウンド・ゴルフペア大会

〔と き〕 12月11日(火)
 〔ところ〕 八千代町民公園
 〔主 催〕 八千代町体育協会
 〔主な結果〕
 第1位 佐藤金資・佐藤久子(道六)
 第2位 草間勇・草間ふみ(TGG)
 第3位 鈴木新平・平田ハルイ(TGG)
 第4位 高野市郎・山本好子(さくら)
 第5位 生井信夫・生井秀子(若)

全日本大学女子駅伝(富士山女子駅伝)で力走

— 立命館大学1年の坂尻有花さん(菅谷西) —

12月30日に静岡県で開催された、2018全日本大学女子選抜駅伝競走(7区間43.4km)に立命館大学1年の坂尻有花さんが出場しました。坂尻さんは、スピード区間の3区(3.3km)を走り、区間5位の力走で立命館大学の総合3位入賞に貢献しました。

坂尻さんは「レースでは、前を行く選手との差を詰めることが出来ず満足の行く走りが出来ませんでした。今後は、どのレースでも最高のパフォーマンスが発揮できるよう、誰にも負けない選手になるという強い気持ちを持ち、日々の練習に励みます」と話していました。



富士山女子駅伝で力走する坂尻さん

全国高校サッカー選手権大会に出場

— 山形県羽黒高校3年の山口快さん(沼森) —

12月30日から1月14日に開催された、第97回全国高等学校サッカー選手権大会に羽黒高校3年の山口快さんが出場しました。山口さんは、フォワードのポジションでレギュラーを獲得しチームに貢献。今大会では惜しくも1回戦で敗退してしまいましたが、山口さんは「もっとうえを目指していたので、結果はとても悔しいです。この悔しい気持ちと今までお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、次の目標に向かって歩んでいきます」と話していました。



高校サッカー選手権に出場した山口さん

広告

相続・遺言・家族信託 無料相談会
 2/9(土)・2/24(日)・3/9(土)・3/24(日)
 都合により変更となる場合がございますので、ご了承ください。

☎0296-48-9107
 (完全予約制につき、お気軽にご連絡ください)
 会場: 結城郡八千代町菅谷1178-1
 担当: 司法書士・行政書士 太田亮介

八千代町 相続 検索 <http://www.ohta-office.jp/>

広告

こだわり地元野菜のつよい味方!

ペレット乾燥鶏糞 バンザイ!みのる君

有機100%JAS規格取得 (登録番号JASOM-160603)
 ペレットだから風に強く機械でまきやすい
エッグドリーム八千代 営業時間: 月曜~金曜 AM9:00~PM4:00
 八千代町菅谷898-18 TEL:0296-54-5492

お知らせ

就学援助制度について

経済的な理由で、小中学校への就学が困難なご家庭に対し、学用品費や給食費などの一部を援助する制度があります。

援助を受けるには、所得などの要件があります。申し込みや審査があります。申し込みや支給は学校を通して行います。詳しくは、お子さんが通学している学校（入学予定の学校）または役場学校教育課へお問い合わせください。

☎ 学校教育課事務係
(内線 3711)

生活排水は適切に流しましょう

流しに油や生ゴミを流すと排水管や下水道管の中で冷え固まり、悪臭や詰まりの原因になります。また、処理場にも悪影響があるので絶対に流さないでください。

適切に処理するには、鍋や皿に付いた油污れは、拭き取ってから洗いましょう。古い油は新聞紙等で吸い取るか、油を固める製品で固め、

燃えるゴミで出しましょう。

☎ 上下水道課下水道係

TEL 0296・48・2238

こころの健康相談

ストレスを抱えて元気がない方、カウンセラーが悩みの相談に応じます。

日時 2月15日(金) 午後1時30分～4時

場所 保健センター

相談料 無料

申込方法 前日までに電話で予約(完全予約制です)

☎ 保健センター

TEL 0296・48・1955

サポステがあなたの就職を応援します！

日時 2月21日(木) 午後2時～4時

場所 中央公民館1階会議室

対象者 就職の悩みを抱える15歳から39歳までの方、またはその保護者・関係者

内容 課題克服セミナーなど

参加費 無料

申込期限 2月20日(水)

☎ いばらき県西若者サポートステーション

TEL 0296・54・6012

2月の納税等

国民健康保険税(8期)
後期高齢者医療保険料(8期)
介護保険料(6期)
納期は2月28日(木)です
☎ 国保年金課(内線 1310)
(内線 1330)
長寿支援課(内線 1240)

就職・再就職はハローワークで！

八千代町内や、その近隣での就職をご希望の方は、ぜひハローワークにお越しください。ハローワークは、お仕事探しのお手伝いをする公的機関です。また、地元で正社員就職を希望する高校、専門学校、短大、大学生の皆様のご支援もしています。求人票だけでは分からない会社の情報(仕事風景や雰囲気など)や、求人動向などの情報も提供します。

☎ ハローワーク下妻

TEL 0296・43・3737

元氣いばらき就職面接会のご案内

複数の企業の人事担当者と

国民年金保険料の納付は口座振替がお得です

口座振替を利用すると、金融機関などに行く手間や納め忘れもないうえ、割引制度もあり、とても便利でお得になります。ぜひご利用ください。

口座振替による割引制度

○早割制度

(当月分保険料を当月末に引き落とす方法で月々50円割引されます)

○前納制度

(6カ月分、1年分、2年分をまとめて納付する方法で現金納付よりも割引額が多くなります)

※前納制度の申込期限は、平成31年2月末です。

申込方法

「口座振替申出書」に必要事項を記入、押印(金融機関への届出印)し、ご希望の金融機関窓口や、年金事務所へ提出

※「口座振替申出書」は、年金事務所国民年金課、役場国保年金課医療年金係にあります。

問い合わせ

下館年金事務所国民年金課 TEL 0296-25-0811

防災行政無線を用いた情報伝達訓練を実施

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え情報伝達訓練を行います。この訓練は全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いたもので、八千代町以外の地域でも様々な手段で訓練が行われます。

日時 2月20日(水) 午前11時ごろ

伝達手段 防災行政無線

※町内に設置してある防災行政無線から一斉に放送されます。

放送内容 上りチャイム音

「これは、Jアラートのテストです」

「こちらは、防災八千代です」

下りチャイム音

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から人工衛星などを通じて瞬時に伝えるシステムです。

問い合わせ

消防交通課防災危機管理室(内線 3410)

直接会うことのできる合同就職面接会です。ぜひご参加ください。

日時 2月22日(金) 午後1時30分～3時30分(受付午後1時～)

場所 水戸合同庁舎2階大会議室(水戸市柵町1-3-1)

対象者 若年者や離職中の求職者

参加事業所 約30社

参加費 無料

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

茨城県労働政策課いばらき就職・生活総合支援センター
TEL 029・233・1576

「ふれんずの会」ひきこもりでお悩みの方へ

日時 毎月第2・4土曜日、午後1時30分～3時30分

場所 キリスト友会下妻月会会堂(下妻市下妻乙217番地)

対象者 家や自室に引きこもりがちな概ね16歳から40歳くらいの方

内容 自由な話し合い、レクリエーション

参加費 無料※別室で行われる高齢者向けのたまり場スペース

ジュニールに参加する場合は1回100円

NPO法人ゆいの会 小貫

TEL 090・4959・5489

募集

県立筑西産業技術専門学院の学院生を募集

高い就職率を誇り、少人数制によるきめ細かい指導を行うこの学院で、一緒に専門資格や高度な技術を習得しませんか。

試験日 【第4追加選考試験】2月27日(水) 【第5追加選考試験】3月18日(月)

場所 県立筑西産業技術専門学院(筑西市玉戸1336-54)

対象者 高校卒業見込者、高校卒業生、大学中退者、大学

オレンジカフェやちよ

認知症の相談もできます。

○2月20日(水)

「輪投げ」

○3月2日(土)

「めがねケースを作ろう」

時間：午後1時～3時

場所：図書館会議室

参加費：100円

■ 地域包括支援センター(内線1220)

西南広域消防本部からのお知らせ

消防車のサイレン音の違いで災害の種類が分かります。

『ウ～・カンカン』

警鐘つきの場合は火災出動するとき

『ウ～・ウ～・ウ～』

サイレン音だけの場合は救助、救急支援、警戒などの災害で出動するとき

問い合わせ

茨城西南地方広域市町村圏事務組合
消防本部総務課 TEL 0280-47-0124

TEL 0296・24・1714

卒業生、離職された方など
募集科名 機械システム科、電気工学科、金属加工科
費用 【選考手数料】2200円 【入学科】5650円
年間授業料 118,800円(金属加工科は無料)
申込期間 【第4追加選考試験】2月8日(金)～21日(木) 【第5追加選考試験】2月22日(金)～3月14日(木)
学院見学 随時可能(希望日の3日前までに申し込み)
※募集定員に達した科は試験を実施しません。出願前に必ずお問い合わせください。
■ 県立筑西産業技術専門学院

八千代町男女共同参画講演会を開催

町では、男女共同参画社会の実現を目指した事業に取り組んでいます。取り組みの一環として、男女共同参画に関する意識高揚を図ることを目的とした講演会を開催しますので、ぜひご来場ください。

日時 2月17日(日)
午後1時30分～3時30分
(受付：午後1時～)

場所 中央公民館大ホール

○オープニングアトラクション
大正琴演奏 きらめき琴の会ゆうなクラブ
飯山静煌氏(琴伝流師範)

○講演
テーマ「人は見かけによらず・・・!？」
～考えよう多様な生き方暮らし方～
講師 河野陽介氏(声楽家)

※入場無料、託児あり(託児をご希望の方は2月8日(金)までにご連絡ください)

問い合わせ
まちづくり推進課企画政策係(内線3210)

農業振興(農振)地域の除外手続きのお知らせ

農振地域とは、農地を守るために指定された地域で、地域内の農用地を農業以外に使用する場合は、農振地域からの除外手続きが必要になります。

自己住宅の建築や、駐車場の整備等の計画が具体化しており、除外を希望される方は受付期間内に必要書類を提出してください。

受付期間 3月1日(金)～29日(金)
※除外手続きには半年以上の期間がかかります。

※受け付けは3月と9月の年2回のみですので、計画的に手続きをしてください。



問い合わせ
産業振興課農政係(内線2241)

議会だより

12月定例会

■発行／八千代町議会

No.172

■編集／議会だより編集委員会

一般会計予算総額 84億6千210万7千円に

平成30年第4回定例会は、12月5日から12日までの8日間の日程で開催されました。この定例会では、町執行部より平成30年度補正予算案をはじめ、条例改正など8議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は、12月11日と12日に行われ、6人の議員が登壇し、町の方針をたしました。

可決した議案内容

● 条例

◇職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づき、次のとおり改正を行うものです。
(平成30年4月1日から適用)
・若年層に重点をおいた給料表の改定(平均0.2%引上げ)

(平成30年12月1日から適用)
・民間の支給割合に見合うように勤勉手当支給月数を0.05月分引上げ
(平成31年4月1日から適用)
・期末手当と勤勉手当の支給割合を6月期と12月期に均等に配分

◇特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づく一般職の給与条例改正に準じて、次のとおり改正を行うものです。

(平成30年12月1日から適用)
・民間の支給割合に見合うように期末手当支給月数を0.05月分引上げ
(平成31年4月1日から適用)
・期末手当の支給割合を6月

期と12月期に均等に配分

◇土地開発基金条例の一部改正

基金の有効活用を図るため、財政上特に必要であると認めるときに基金の取崩しができるよう、処分に関する条項を新たに追加するものです。

◇公の施設の指定管理者の指定について

平成31年4月から平成34年3月までの3年間、公の施設である八千代町農村環境改善センター・八千代グリーンビレッジ・クラインガルテン八千代の3施設の指定管理者として一般財団法人八千代町ふるさと公社を指定するものです。



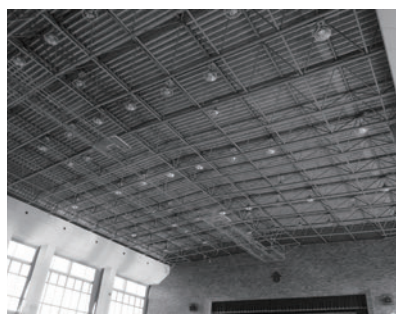
●平成30年度補正予算

とするものです。
歳出の主な内容は、施設介護サービス給付費と居宅介護住宅改修費の増額です。

◇一般会計(第4号)
歳入歳出それぞれ2億2千835万2千円を追加し、予算総額を84億6千210万7千円とするものです。

歳出の主な内容は、人事院勧告に伴う人件費342万7千円。町有地ブロック塀撤去工事請負費236万6千円。下妻地方広域事務組合負担金1億6千191万6千円。西山工業団地内公園防護柵設置工事請負費161万円。総合体育館LED照明交換工事請負費602万7千円。給食センター外構工事請負費2千982万5千円を増額するものです。

◇介護保険特別会計(第2号)
歳入歳出それぞれ5千548万2千円を追加し、予算総額を17億3千757万5千円



照明がLED化される総合体育館

◇農業集落排水事業特別会計(第1号)
歳入歳出それぞれ129万4千円を追加し、予算総額を3億5千500万1千円とするものです。
歳出の主な内容は、人件費の増額です。

◇下水道事業特別会計(第1号)
歳入歳出それぞれ40万6千円を追加し、予算総額を4億1千798万8千円とするものです。
歳出の主な内容は、人件費の増額です。

議会からのお知らせ
水垣正弘議員と国府田利明議員が八千代町長選挙に立候補したことにより、1月15日付で町議会議員を自動失職しました。
なお、現在の議員数は12名(欠員2名)となりますが、補欠選挙は実施されません。

第4回定例会における議案等の審議結果

審議内容	議席	1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	議長
	審議結果	増田 光利	国府田利明	大里 岳史	廣瀬 賢一	大久保弘子	中山 勝三	生井 和巳	大久保 武	水垣 正弘	小島 由久	宮本 直志	大久保敏夫	湯本 直	上野 政男
八千代町公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	—

○・・・賛成 ×・・・反対

※今定例会で審議された議案等のうち、意見が分かれた案件のみ、上記の一覧表に掲載しています。なお、記載のない議案等については、「全会一致（全員が賛成）で可決または承認」しています。審議の詳細な内容は、議会のホームページの会議録（2月下旬頃掲載予定）をご覧ください。

町政を問う！ 一般質問6名が登壇

介護保険新総合事業による地域支援事業の現状と対策について



大久保 弘子議員

国が軽度の要介護者向けサービスを市町村に移行させ、住民等の多様な主体が参画することで、介護費の抑制を狙った介護予防・日常生活支援総合事業が開始されて、1年9か月が経過しました。しかし、実際には、利用者へのサービスを住民ボランティアでまかなうのは不可能との声が圧倒的だと新聞報道されています。

保健福祉部長 要支援1・2に該当された方は、地域包括

支援センターの担当者が利用者やご家族と話し合い、必要なサービスを分析し、作成した介護予防ケアプランに基づき介護サービス事業者と契約してサービスを利用することになります。利用できるサービスは、食事・入浴の介助等の身体介護、掃除・洗濯等の生活援助といった訪問型サービス、生活機能改善のための運動機能向上や栄養改善プログラムを短期間行う介護予防運動教室等の通所型サービスがあります。自己負担が1割となっております。改定前後でサービス内容や利用料についての変更はありません。

また、買い物支援については、社会福祉協議会による有償ボランティアで対応していただいています。

総合事業の指定を受けた事業所数は、現在、町内で11か所、町外で14か所となっています。町内の事業所のうち施設・居住系サービスの定員は、認知症対応型グループホーム2事業所で27名、特別養護老人ホーム2事業所で120名、老人保健施設1事業所で100名となっています。指定・登録事業所に対して、町からの補助はしていません。

平成26年の法改定以来、地域包括支援センターを設置する目安は、中学校区単位に1か所、また、65歳以上の高齢者が概ね3千人に1か所とされています。

当町では、現在1か所のみで運営していますが、高齢者人口と生活圏域を鑑みると、センターの増設が必要ではないでしょうか。

保健福祉部長 厚生労働省からの通知において、最も効果的・効率的に業務が行えるよう、市町村の判断により担当圏域を設定するものと述べられており、概ね人口2万3万人に1か所が目安になると考えています。当町においては、総合的な判断として、今後も町直営の1か所で開催していきたいと考えています。

その他の質問

・福祉タクシーの利用拡充について
・中学校のエアコン設置について

公の施設について



湯本 直議員

公民館運営審議会委員を務めていた経験上、おおよその数字は把握しているのですが、直近1年間の公民館及び体育館の利用状況をお尋ねいたします。

公の施設の貸し出しについては、その利用目的を確認し、慎重に判断した上で許可していただきたい。

教育次長 公の施設とは、地方自治法第244条第1項に規定されており、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設を指します。当町での主な施設としては、公民館、体育館、運動公園、図書館、歴史民俗資料館等で、多くの住民の方にご利用いただいているところです。

施設の利用状況ですが、中

央公民館については、社会教育法に基づく社会教育、学術、文化等の活動を行うために、幼稚園の団体、青少年団体、女性団体、成人団体、高齢者団体に至るまで、幅広い年代の方にご利用いただいております。昨年度の実績は、開館

日数が281日、利用団体数が212団体、利用者数が4万2千137人でした。

また、総合体育館については、条例の設置目的に基づき、スポーツやレクリエーション、さらには文化活動などを行うために、幼稚園の団体、スポーツ少年団、中学校、体育協会の加盟団体、高齢者団体に至るまでの幅広い年代の方や、企業等の団



多くの方に利用される公民館、体育館

体の方にもご利用いただいております。昨年度の実績は、総合体育館全体で1千353件、2万9千290人の利用がありました。

今後も多くの方々にご利用いただくために、各施設のサービスの充実に努め、住民福祉の向上に寄与していきたいと考えています。

障がい者対策について



増田 光利議員

平成30年3月に改定した町域防災計画の中で、福祉避難所に5施設が指定されています。収容可能人数や支援員の配置計画、また、周知方法について伺います。

総務部長 本年1月に、町内の特別養護老人ホーム2施設、障害者施設2施設、介護老人保健施設1施設と協定を締結し、災害が発生した場合において、施設の一部を使用した福祉避難所の設置・運営について、ご協力いただいているところです。

しかしながら、現実にはどれくらいの要配慮者が福祉避難を必要とするのか、どれくらいの避難スペースが確保できるのかについては、今後、保健福祉部及び施設管理者と詳細を詰めていかなければな

らない課題としてとらえています。

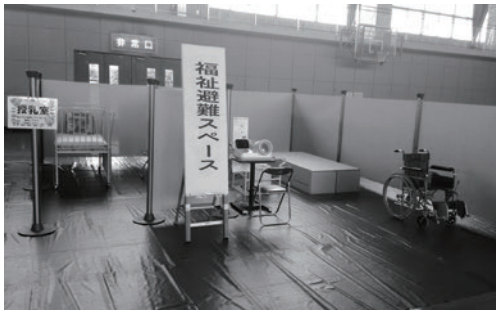
また、避難所を開設した場合に備え、避難所を運営するために具体的な必要事項を示した、避難所運営マニュアルを本年5月に作成しています。このマニュアルには、避難所の開設から運営、閉鎖までの手順や役割分担等が示されており、避難者支援班や要配慮者支援班の役割等についても記載されています。

要配慮者の支援をスムーズに行うため、防災訓練や防犯情報の各戸配布、ホームページ、SNS等あらゆる媒体を活用し、広く住民に周知していきます。特に要配慮者及びその家族に対しては、民生委員や保健師の活動、支援団体等を通じて周知徹底に努めていきます。

災害対策基本法では、災害が発生した場合、要配慮者を滞在させるために必要な居室が確保されることと定めています。当町における対応について伺います。

総務部長 一般の避難所に避難してきた方で福祉避難の対象となる者がおり、福祉避難室が必要と判断する場合は、施設管理者に開設を要請して福祉避難室を開設します。

福祉避難室を開設するにあたっては、生活相談員等を配置するとともに、ポータブルトイレや仮設スロープ、パルティション等の器物、紙おむつ等の消耗器材を確保し、受入態勢が整い次第、要配慮者及びその家族、支援団体等に周知を行い、受入れを開始するといった手順を進めていきます。



避難所に開設される福祉避難スペース
(写真は防災訓練時のもの)

その他の質問
空き家問題について

個人情報保護法について



大久保 敏夫議員

町長は、現在行われている公判の場において、個人情報報を漏らしたことに關して「言ったことは間違いない」、また、自らを「町税の最高責任者」と述べたことに間違いはないか。

町長 個人情報報の件であります。現在行われている公判の場において、個人情報報を漏らしたことに關して「言ったことは間違いない」、また、自らを「町税の最高責任者」と述べたことに間違いはないか。

私は町民の個人情報報が漏えいすることを危惧し、警鐘を鳴らす意味で申し上げている。このことは、町長のみならず、役場職員も同様に、襟を正し、今後の職務に精励されることを望みます。

平成30年12月3日に、「公職選挙法で制限を受ける選挙運動について」という通知が町選挙管理委員会から行政区長に送付された。なぜ、このような書類が送付されたのか、その理由を問う。

総務部長 行政区長等から「行政区長・副区長は選挙運動が出来るのか?」といった問合せが複数件あったので、12月3日の文書使送の際に、制限を受ける選挙運動などについて、選挙管理委員会から通知文をお送りしました。

平成31年1月に町長選が執行されるが、行政区長が特定の候補者の後援会長に就任することや後援会への勧誘活

動、また、特定の候補者に随行し選挙活動を行うことは適正なのか、見解を伺う。

総務部長 選挙に関して、違法行為があった場合の選挙管理委員会の対応としては、通報等の内容について、事実関係の確認を行い、公職選挙法の定めにも抵触する恐れのあるものについては、関係者に改善を促すとともに、なお重大な違法行為と思われる行為が継続する場合は、管轄である警察署等に通報することとなります。

また、公職選挙法は仮に当選した場合でも、重大な法令違反等があれば、当選無効という罰則も設けられています。



1月20日に執行された町長選挙
(写真は期日前投票所の様子)

11億円の適規模でない 給食センター建設について



国府田 利明議員

膨大な約11億円の費用を要する給食センター建設を適正だと考えているのか。現在の進捗率は約8%に過ぎず、規模を見直し、縮小する余地があると思いますが、執行部の見解を伺います

教育次長 現在建設している給食センターは無駄を省いたコンパクトな設計となっております。法令及び各基準に適合したものであると考えています。

町長 平成28年8月に学校給食建設検討委員会に諮問し、先進事例等の視察を行いながら多面的に検討していた

だき、平成29年3月に答申書をいただきました。この答申書に基づき、基本構想、基本計画、さらには基本実施設計を策定し、議員の皆様のご意見を伺いながら、平成31年度の供用開始に向け建設工事が開始されたところです。

このようなさまざまな角度から検討し法令や各基準に適合した現在建設中の給食センターの規模は適正であると考えています。

八千代第一中学校校舎建設時に転落死亡事故を起こした業者が、給食センター建設工事を請け負うことに決まりました。事故当時、町から何ら処罰を受けなかった業者が工事を施工することに対して、癒着ではないのかとの声も多く聞かれます。その声に対して、町長はどのように思っているのか。

町長 指名業者の選定に関して、八千代町工事請負業者指名委員会の決定に基づ

き、指名業者を決定しています。八千代町建設工事請負業者選定に関する規程に基づき、信用度、工事成績、手持ち工事の状況などに留意して選定しているもので、偏りはないと考えています。今後も地元業者の育成、産業の振興に努めていきます。

また、癒着も何もありませんで、ご理解をいただきましたと思います。

一級町道8号線の整備計画について、地元住民は早期完成を強く望んでいるが、工事着工の見通しは。

産業建設部長 平成34年度から道路改良工事に着手し、8年後の平成41年度に工事完了の予定ですが、短期間での用地取得に努め、早期の工事着工を目指すとともに、工事費の縮減を図り、早期の供用開始に向けて事業を推進していきます。

その他の質問
総合体育館の利用と広報について

町の創生・活性化へ



中山 勝三議員

当町の地方創生総合戦略では、農業生産強化を掲げており、主な取組に農業の6次産業化の支援を挙げています。6次産業化を推進するためには、一連のプロセスをトータルで支援すること、販売計画を立て事業の運営や資金繰りをどうするか、持続的な収益を得るためにはどうするか等のPDCAサイクルをサポートする必要があります。そこで、6次産業化への支援をどのように図っているのかお尋ねします。

産業建設部長 6次産業化については、当町の農作物のブランド化を推進する上で有効な手段のひとつです。町を代表する農産物である白菜、メロン、梨のほか、さし茶茶等において、知名度の向上のためPR活動を行うほか、国・県の補助事業等を活用するなど、町内産の農作物の地域ブランド化確立のため、取組の支援を行ってきました。今後とも、国・県補助事業の活用や、6次産業化サポートセンターと連携し、支援に取り組んでいきたいと考えています。

先ごろ、八千代町の未来を創るアイデアコンテストの募集が行われました。次世代を担う若者が夢と希望をもって暮らすことができ、高齢化社会にゆとりと豊かさをもたらす、地域の産業や農業、商業、工業を活性化させることを目的としており、主催が町商工会、共催が筑波学院大学、町と町教育委員会が後援に名を連ねています。

このような企画は産学官が連携した事業であり、町の将来を担う明るい材料だと考えます。そこで、現在までのエントリー状況についてお伺いします。

企画財政部長 現在の応募状況については、エントリーシートが68件あったと

伺っています。内訳につきましては、小学校が23件、中学校が2件、八千代高校から28件、大学が7件、一般の方が8件となっています。提出された企画書を審査し、10件程度に絞ったあと、2月20日にプレゼンテーションによる最終審査をし、表彰を行うと伺っています。

人口推移について、当町の場合は、研修生による転入・転出数に影響を受けるようですが、自然減や社会減を含めた直近5年間の実態をお聞きます。

	自然増			社会増			人口増減 (自然増+社会増)
	出生数	死亡数	増減	転入	転出	増減	
平成25年	175	267	△92	836	1,010	△174	△266
平成26年	152	284	△132	738	902	△164	△296
平成27年	146	261	△115	875	996	△121	△236
平成28年	151	269	△118	884	904	△20	△138
平成29年	130	267	△137	1,063	967	96	△41

○議会議員全体研修視察報告

去る10月2日に新潟県佐渡市において、移住・定住支援事業について研修を行いました。

佐渡市では多くの若者が高校を卒業とともに島を離れるため、自然減と合わせて年間1千人規模で人口減少が進んでおり、その結果、地域の過疎化を招き、空き家の増加や地域活力の低下が深刻な問題となっています。そこで、Uターン、Iターンを促進するため、移住・定住支援事業に取り組んでいます。主な施策としては、首都圏での移住相談会の開催や市ホームページの特設サイトでの移住・定住支援情報を発信するPR・情報提供事業。佐渡で暮らそうとする者へ定住体験住宅の貸し出しを行う誘導策事業。市ホームページに島内の空き家物件情報を掲載し紹介する受入れ支援事業。また、移住相談体制を強化する総合案内役として佐渡Uターンサポートセンターの開設が挙げられます。

これらの移住・定住支援対策を進めてきた結果、平成24年頃からUターン者、Iターン者が漸増しはじめ、PRと情報提供の効果もあって特にIターン者が増加しています。しかし、その数は100人余りの人数であり、年間1千人の人口減を補うにはまだまだ厳しい状況が続いているため、既存の制度以外に新たな制度を立ち上げ支援制度を強化しなければならぬとの説明がありました。



佐渡市役所 佐和田行政サービスセンター前にて

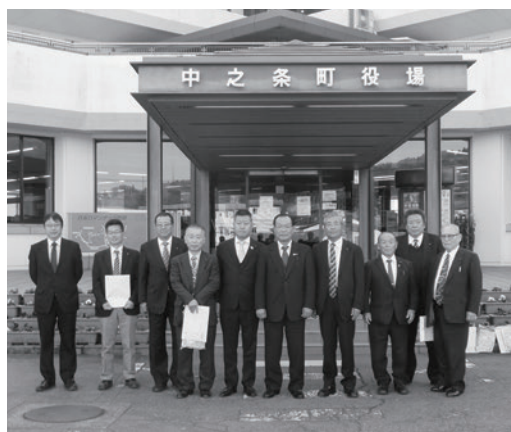
当町においても移住・定住支援を実施していますが、移住・定住者を増やすには働く場の確保が非常に重要であり、町が現在進めている工業団地への企業立地を好機ととらえ、町への移住・定住者の増加に繋げていかなければならないと考えます。その際には、今回の研修で得たものを政策提言などを通じて、移住・定住促進に活かしていきたいと思えます。

○議会運営委員会・議会だより編集委員会合同研修視察報告

去る11月27日に、群馬県中之条町議会において、議会運営についてと議会だより編集について研修視察を実施しました。

中之条町議会は、群馬県で初となる通年議会制を導入した議会であります。平成29年7月に議会運営委員会にて通年制の導入が決定され、平成30年3月の本会議における通年議会関連の条例及び規則の制定を経て、4月から導入が決定されました。その成果として、専決処分が少なくなったことや常時委員会活動が可能のため、時期を逸することのない確かな対応が挙げられておりました。また、議会基本条例も4月から施行しており、議会及び議員の活動原則や議会と住民との関係を定めることにより、議会のあるべき姿を明確に定めております。特筆すべきところとして、反問権の付与が挙げられます。執行部に反問権を付与することにより、論点や争点が明確になり、議員側も軽々に発言ができなくなり、緊張感が生まれたと述べられておりました。また、条例の目的が達せられているかを検証し、環境に合わせた条例の整備を行うために、議会基本条例検証特別委員会を設置しているとのことでありました。

議会だよりについては、議員6名による議会広報特別委員会を設置し、町の広報紙とは別に議会だよりを発行・配布しております。町民の方が身近に議会を感じられるよう、議会用語をなるべく使わずに構成されており、誰にでも分かりやすく、親しみのある紙面づくりを心がけておられました。また、



群馬県中之条町庁舎前にて

議会だよりを広報活動の中心にすえながらも、多様な広報手段による活動を模索しており、平成30年8月から議会フェイスブックの開設や議会議員の視察研修報告書をウェブ公開とするなど、様々な方法で住民に議会情報を発信していました。今回の研修成果を今後の議会運営、議会だより作成及び議会広報活動に十分活かし、町民の皆様の信頼に応えてまいりたいと考えています。



団旗入場



分列行進

八千代町消防出初式



幼年消防隊防火パレード
(防火の誓い)

1月12日、役場駐車場や中央公民館等を会場に、八千代町消防出初式が開催されました。

役場駐車場等では、姿勢服装の点検、幼年消防隊の防火パレード、分列行進、消防ポンプ車からの一斉放水などが行われました。

中央公民館大ホールで行われた式典では、消防活動に貢献した方々が表彰されました。式典で小菅康司消防団長は「強固な消防精神を持ち、安心して暮らせる災害に強いまちづくりのため、最善の努力を尽くします」と答辞を述べました。



幼年消防隊防火パレード
(防火の誓い)



答辞を述べる小菅団長



式典



姿勢服装の点検

消防関係者表彰 (敬称略)

茨城県知事表彰

○永年勤続功労章 (勤続 30 年)

副団長 沢木清司

○永年勤続功労章 (勤続 20 年)

元第 6 分団分団長 川田和弘

茨城県知事・茨城県消防協会会長表彰

○自治体消防制度 70 周年記念

特別表彰 (優秀消防団員)

副団長 渡邊利明

茨城県消防協会会長表彰

○永年勤続功労章

副団長 沢木清司

○功労章

本部付分団長 岩田大

○優良分団

第 5 分団

○永年勤続消防職団員妻女

沢木さゆり

八千代町長表彰

○優良団員

第 1 分団団員 土屋理人

第 2 分団副分団長 高田保啓

第 4 分団分団長 大里将史

第 5 分団班長 坂入朝規

第 6 分団副分団長 鳶田俊之

第 7 分団副分団長 原尚人

○優良分団

第 5 分団

○防火運動推進指導者

さわきこども園 草間瑞貴
さわきこども園 渡邊智亜紀

団長表彰

○優良団員

第 1 分団団員 中島将之

第 1 分団部長 生井孝治

第 2 分団団員 赤浜修平

第 2 分団団員 島田瞬

第 4 分団部長 秋葉敬之

第 4 分団部長 内海光平

第 5 分団班長 峯清隆

第 6 分団部長 中荅勇太

第 6 分団班長 中山歩

第 7 分団部長 上野昶男

編集後記

▽新春の風物詩「消防出初式」を取材しました。

冬空のとても寒い中でしたが、団員たちは勇壮な姿を、幼年消防隊員は元気いっぱい姿を披露していました。幼年消防隊による防火パレードでは、大勢の参観者が見守るなか「絶対に火遊びはしません」と大きな声で防火の誓いを唱和していました。

乾燥注意報が継続して発令されるなど、火災が発生しやすい状態が続いています。火の取り扱いは十分注意しましょう。火の用心!! (広報担当〇)

▽取材をしていると、多くの方々にカメラを向ける機会があります。撮って欲しい方ばかりではなく「恥ずかしいけど仕方がない」と撮らせていただく場合もあります。かく言う私も写真を撮られるのは苦手ですので、そうした人の気持ちは十分わかります。ですので、撮影させていただくという感謝の気持ちで、貴重な一瞬をお伝えできるよう取り組んでまいります。

(広報担当 A)